

# 31年1月末完成目指す サイクロトロン研究所 新築工事着工

（一財）脳神経疾患研究所が計画中の「（仮称）南東北創薬・サイクロトロン研究所」新築工事安全祈願祭は、12月15日（金）午前11時から郡山市八山田の総合南東北病院管理棟西の建設予定地で行われます。

研究所の建設予定地から西約200mにある南東北BNCT（ホウ素中性子捕捉療法）研究センターでは、平成28年1月から世界の病院で初めて加速器を用いたBNCT装置を使って脳腫瘍と頭頸部がんの第Ⅱ相治験を実施中です。BNCTはがん細胞だけに取



研究所の完成予想図



研究所建設予定地

りこまれるホウ素化合物を投与し、エネルギーの低い中性子を照射してがん細胞だけを破壊する最先端のがん治療法。この創薬・サイクロトロン研究所では①これらホウ素化合物が、がん細胞に集積しているかどうかPETで確認するための薬剤の研究②認知症の症状が顕著に表れる前に、予兆や発症する可能性を診断するためのPET薬剤の研究などを主に進めます。また製薬メーカーなどの要請に応じ、薬の体内での動きや集積、排出などの解析も行い新薬開発にも貢献する予定です。

## 平本経済産業大臣政務官が来院 南東北 BNCT 研究所を視察に

平木大作経済産業大臣政務官が11月16日（木）午後、郡山市の南東北BNCT研究センターを訪れ、昨年初めてからホウ素中性子捕捉療法治験を実施中の同施設を視察しました。東日本大震災から6年半過ぎた福島県内の復興状況視察に合わせた訪れたもので、宮崎貴哉内閣府原子力被災者生活支援チーム参事官、大竹真貴復興庁福島復興局参



加藤室長の説明を受け見学する平木政務官（右から2人目）

事官らが同行しました。菊池泰裕副センター長ら幹部の出迎えを受けた平木政務官は、2階会議室で「先日視察に訪れた公明党の山口代表

からよく勉強するよう指示された。画期的な治療法を良く学び、今後の医療政策を支えられるよう勉強していきたい」とあいさつ。加藤貴弘品質管理室長からサイクロトロンを使い陽子線を加速、中性子とホウ素化合物の化学反応を利用してがんを治療するシステムの概要説明を受けました。この後、地下1階にある病院では初の加速器を使ったBNCT治療法の施設、中性子を照射する治療室などを見て回り、菊池副センター長らに照射時間や有効性、治療費などを熱心に質問。治験が順調に進んでいるという説明に大いに期待しているようでした。

### 最近よく聞く言葉

体幹とは、読んで字のごとく「体の幹」、一般的に頭部と四肢（左右の手足）を除いた胴体部分を指します。身体のコア（中心）となる部分なのでお腹周りをイメージするかもしれませんが、腹筋だけを指すのではなく背中や腰周りも含め胴体の中心部全体と考えれば良いでしょう。

体幹は骨と筋肉から成り、構成する骨には骨盤、背骨、肋骨、肩甲骨などがあります。

### 体幹（たいかん）

その周囲を取り巻く筋肉には深層筋と表層筋があり、この2種類の筋肉を総称して体幹筋と呼びます。深層筋は、身体の内側の深い部分にある筋肉で「インナーマッスル」とも呼ばれます。表層筋は深層筋の外側、身体の表面に近い部分にある筋肉です。

体幹にはたくさんの筋肉があり役割も違います。例えばお腹周りの筋肉をみると、一般的に腹筋と呼ばれているのは腹直筋で腹部の表層にあり、腹部を丸める際に収縮し

て機能します。これに対して深層にあるのが腹横筋です。腹横筋は収縮してもあまり大きな動きを生まないのですが、自分からは分かりませんが、自前の「コルセット」とも呼ばれ、身体を支える働きがあります。

このように体幹筋には身体を動かす筋肉（表層筋）と身体を支える筋肉（深層筋）があり、これらが互いに連動して「支える」筋肉が土台として機能をしつかり果たすことにより、「動かす」筋肉もその役割を発揮することができ